CatOSが稼働するCatalystスイッチのパスワード 回復

内容

<u>概要</u> <u>前提条件</u> <u>要件</u> <u>表記法</u> <u>手順</u> <u>CatOS が稼動する Catalyst 6500/6000 でのパスワード回復手順の出力例</u> <u>Catalyst 1200 でのピンの短絡によるソフトウェアとパスワードの回復</u> <u>関連情報</u>

概要

このドキュメントでは、スーパーバイザ エンジンで Catalyst OS(CatOS)ソフトウェアが稼動 する次のシスコ製品でのパスワードの回復方法を説明します。

• Catalyst 1200	Catalyst	Catalyst
	2926T/F	4500/4000
Catalyst 1400 FDDI	Catalyst	Catalyst
concentrator	2926GS/L	5000
Catalyst 2901	Catalyst	 Catalyst
	2948G	5500
Catalyst 2902	Catalyst	Catalyst
	2980G	6500/6000

Catalyst 4500/4000または6500/6000シリーズスイッチでCisco IOS®ソフトウェアを実行している 場合、またはルータモジュールでパスワードを回復する必要がある場合は、次のドキュメントを 参照してください。

Password Recovery Procedures



<u>要件</u>

このドキュメントに特有の要件はありません。

<u>表記法</u>

ドキュメント表記の詳細は、「<u>シスコ テクニカル ティップスの表記法</u>」を参照してください。

<u>手順</u>

パスワードを回復するには、次の手順を実行します。

- 端末エミュレーションをもつPC、または端末をスイッチのコンソールポートに接続します。次のターミナル設定を使用してください。9600 ボーレートパリティなし8 データ ビット1 ストップ ビット注:コンソールポートへのケーブル配線と端末の接続に関する詳細は、ド キュメント『Catalystスイッチのコンソールポートに端末を接続する方法』を参照してくだ さい。
- 2. 電源スイッチをオフにして、再度オンにします。電源をリセットした後、スイッチで最初の パスワードプロンプトが表示されるまで、必要ならば数分間待機します。重要:最初のパ スワードプロンプトを表示した後、ステップ3~7で説明した回復手順を完了するのに30秒 かかります。この手順を完了するのに30秒しかないため、スイッチから古いパスワードまた は新しいパスワードの入力を求められたらEnterキーを押します。これはヌル文字を入力す るのと同じで、回復を早急に完了できます。この後のいずれかのステップでエラーが表示さ れたら、30秒の制限を超えたことを示しています。この制限を超えると、スイッチの電源 を一度切り、再度入れ直す必要があります。ステップ3に戻って、もう一度手順をやり直し てください。
- 3. パスワード プロンプトで Enter キーを押してヌル パスワードを入力します。
- 4. プロンプトで enable を入力して enable モードに入ります。
- 5. パスワード プロンプトで Enter キーを押してヌル パスワードを入力します。
- 6. <u>set password コマンドまたは</u> <u>set enablepass コマンドでエラーが出た場合はパスワードを</u> 変更します。
- 7. プロンプトで古いパスワードを入力し、Enter キーを押します。重要: ステップ3 ~ 8のいずれかの時点で「sorry password incorrect」メッセージが表示された場合は、パスワードの入力を求めるプロンプトでEnterキーを押すだけ、必ず確認してください。このメッセージは 30 秒のタイム リミットを超えたことを示しています。スイッチの電源オフ/オンを再度行う必要があり、その後ステップ 3 に戻って手順を繰り返してください。
- 8. パスワード回復が正常に終了したら、set password コマンドと set enablepass コマンド使用して、希望するセキュア パスワードを設定します。

<u>CatOS が稼動する Catalyst 6500/6000 でのパスワード回復手順の出力例</u>

 ***** ****** ***** ***** System Power On Diagnostics DRAM Size64 MB Testing DRAM.....Passed NVRAM Size512 KB Level2 CachePresent System Power On Diagnostics Complete Boot image: bootflash:cat6000-sup.6-3-3.bin Running System Diagnostics from this Supervisor (Module 1) This may take up to 2 minutes....please wait Cisco Systems Console !--- The first password prompt appears approximately !--- in this area, which depends on the platform. !--- As the modules power up, other console output !--- surrounds the prompt. Pay attention here !--- because you only have 30 seconds to complete the password !--- recovery procedure from this point. 2002 Apr 08 16:08:13 %SYS-3-MOD_PORTINTFINSYNC:Port Interface in sync for Module 1 Enter password: !--- Press Enter. 2002 Apr 08 16:08:15 %SYS-1-SYS_ENABLEPS: Power supply 1 enabled 2002 Apr 08 16:08:15 %SYS-1-SYS_ENABLEPS: Power supply 2 enabled 2002 Apr 08 16:08:18 %SYS-5-MOD_PWRON:Module 3 powered up 2002 Apr 08 16:08:18 %SYS-5-MOD_PWRON:Module 4 powered up 2002 Apr 08 16:08:25 %MLS-5-NDEDISABLED:Netflow Data Export disabled 2002 Apr 08 16:08:26 %MLS-5-MCAST_STATUS:IP Multicast Multilayer Switching is enabled 2002 Apr 08 16:08:26 %SYS-5-MOD_OK:Module 1 is online Console> enable Enter password: 2002 Apr 08 16:08:37 %SYS-5-MOD_OK:Module 3 is online 2002 Apr 08 16:08:37 %SYS-3-MOD PORTINTFINSYNC:Port Interface in sync for Module 3 Console> (enable) set password Enter old password: !--- Press Enter. Enter new password: !--- Press Enter. Retype new password: !--- Press Enter. Password changed. Console> (enable) set enablepass Enter old password: !--- Press Enter. Enter new password: !--- Press Enter. Retype new password:

!--- Press Enter.

Password changed. Console> (enable) 2002 Apr 08 16:09:12 %SYS-5-MOD_OK:Module 4 is online 2002 Apr 08 16:09:12 %SYS-3-MOD_PORTINTFINSYNC:Port Interface in sync for Module 4 2002 Apr 08 16:09:14 %SYS-5-MOD_OK:Module 15 is online

Console> (enable)

<u>Catalyst 1200 でのピンの短絡によるソフトウェアとパスワード</u> <u>の回復</u>

ソフトウェアとパスワードの回復に失敗して、スイッチでソフトウェアを実行する際に Catalyst 1200 がリブートしない場合は、この手順を使用してください。この手順は、ルータでの ROM モ ニタ(ROMmon)モードのアクセスに似ています。基本的には、この手順により十分なスイッチ の機能性が提供され、スイッチに対してソフトウェアが再度ダウンロードされます。

- 1. スイッチ カバーの除去
- 2. ピン JP17 を確認し、ショートします。これらのピンは、すべて LED の右側と RESET ボタ ンの左側にあります。
- 3. スイッチを再度ブートします。スイッチが復帰して、ブート プロンプトが表示されます。
- ブート プロンプトで ifconfig コマンドを使用して IP アドレスを定義し、ネットワーク管理 プロセッサ(NMP)および Data Movement Processor(DMP)ソフトウェアをダウンロー ドできます。

これらのステップによっても動作しない場合は、ハードウェアの交換が必要です。

関連情報

- Password Recovery Procedures
- <u>テクニカルサポート Cisco Systems</u>